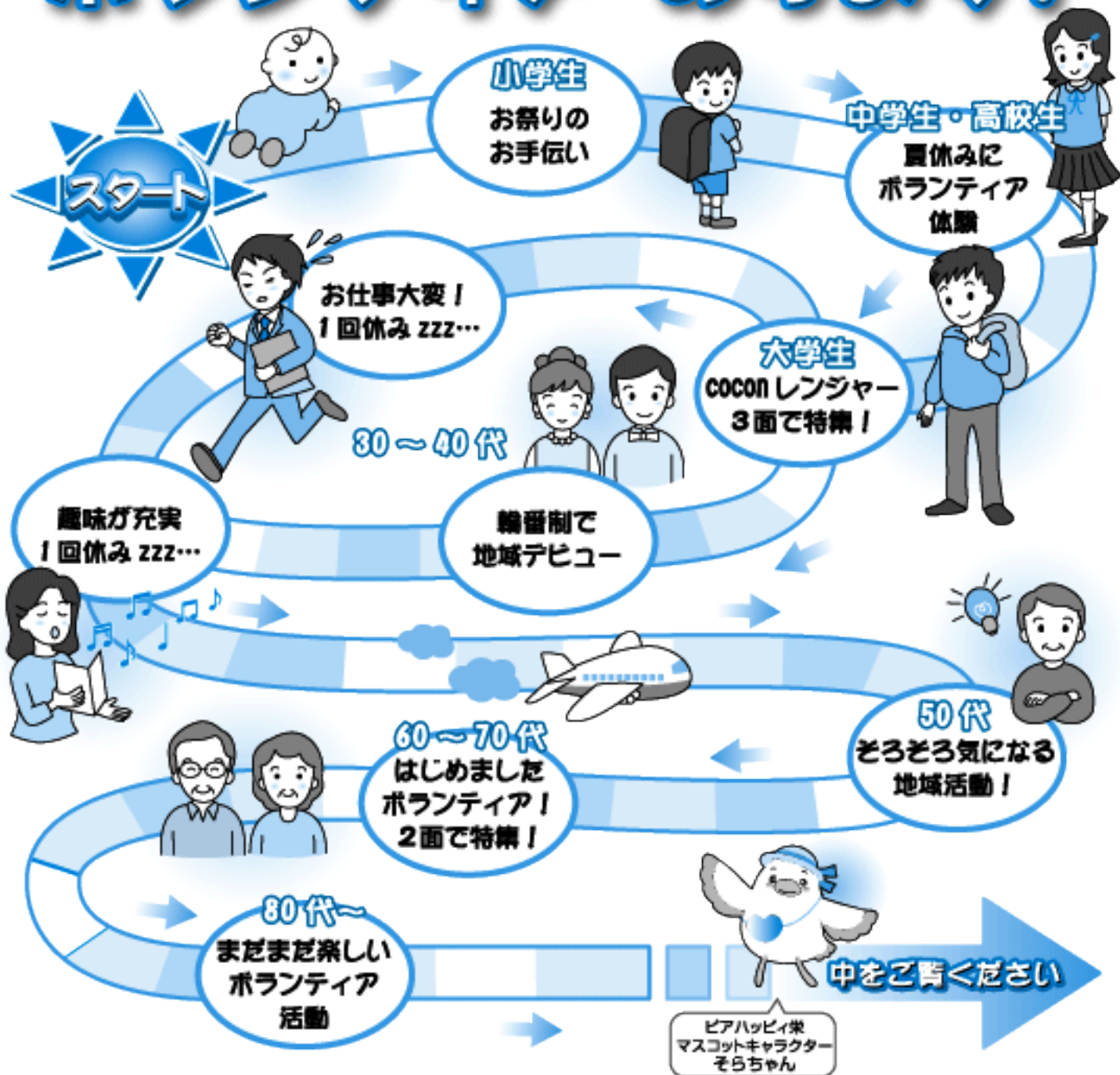


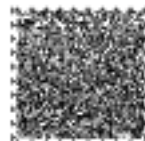
発行 社会福祉法人横浜市栄区社会福祉協議会
 栄区桂町279-29
 ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点内)
 ☎:894-8521 FAX:892-8974
 E-mail:office@sakaeku-shakyo.jp
 URL:http://www.sakaeku-shakyo.jp

栄区承認番号122号

ボランティア あります!



SPコード(音声コード)は文字情報が入った二次元コードの一種で、専用の読取装置をあてると「音声で文字情報を聴く」ことができます。視覚障がいのある方にも広報紙の情報を提供できるように掲載します。



～ はじめました ボランティア ～

今回は、お仕事を引退され、最近ボランティア活動を始められた方々にお話を伺いました。



猪俣 紀代子さん

ピンときたその時が...

昨年11月からボランティア活動を始めた猪俣紀代子さん。7年前まで、仕事一筋の生活でした。退職された時、外からの見た目は何も変わらないけれど、ご本人の心の中は社会に必要とされていないような空虚感に似た感情があったそうです。猪俣さんは「そうした想いを整理するのに7年もの年月がかかってしまった。」と笑顔で話されていました。

退職後の戸惑いと向き合いながらも、「何か自分にできることがあるはず」とずっとアンテナは張っていたそうです。何となく回覧板を見ていた時、小菅ヶ谷地域ケアプラザで活動する「親子カフェにじいろ」とめぐり合い、ボランティア活動の一步を踏み出しました。「自分の気持ちと調子が合った。ピンと来たその時が動き出すとき。肩ひじをはらずに焦らず待つ。待つ時間は自分の中の充電時間だと思います。」との言葉が心に響きました。

ボランティアの魅力について、「ボランティア活動は、たくさんの出会いがあり、新たなご縁が生まれ、楽しいことが増えたと思っています。」と語る猪俣さんは、竹のようにしなやかで魅力的な女性でした。



真っ白だったカレンダーが...

75歳までお仕事をされていた永澤卓也さん。仕事をしている間、ご近所との付き合いはなかったそうです。お一人暮らしの永澤さんは、退職後、会話が少なくなり、「これはまずいな」と思っていたところ、民生委員の方に声をかけられ、ボランティア活動を始めることになりました。昨年度豊田地域ケアプラザで開催された「男塾」に参加したことをきっかけに、サロンでのコーヒーサービスボランティアや福祉教育のお手伝いなど、活動がどんどん広がっています。

ボランティア活動を始めてから人の輪が広がり、地域の方と仲良くなったそうです。「真っ白だったカレンダーが真っ黒になり、娘が驚いている。毎日が楽しい。」とのお言葉が印象的でした。

「企業活動とボランティア活動、どちらも広い意味では社会活動。ボランティア活動には、地域社会に還元するという意識改革が必要なのではないか。元気なうちは、できることをやるという自覚と相互扶助の気持ちが大事。」と力強く語っていました。



永澤 卓也さん

最初の一歩を踏み出したら...

月2回野七里地域ケアプラザで活動している「なすなの会」(認知症予防を目的としたプログラムを実践)で世話役をされている渡部弘さん。70歳を過ぎて出会った、人生初のボランティア活動について伺いました。

仕事からの引退後、今までの人脈とは別に地域で何かできないかと思っていたところ、目に留まったのが地域ケアプラザの「ボランティア養成講座」の案内。講座を受講した仲間と「なすなの会」を立ち上げて半年余りが経ったそうです。

「何かをやってあげるといふことでなく、一緒に楽しんでいきます。最初の一歩を踏み出したら、今に繋がりました。うまく続かなければ、他の事をやってみればいいし、気軽に一歩を踏み出せばいいと思います。」と渡部さん。「一年前に仕事から退いて時間の自由ができたので、人生の残り時間の使い方を自分なりに設計しながら生活したい」と話される姿に芯の強さを感じました。ボランティア活動もその時間の中にしっかりと入っているようです。



渡部 弘さん



(戸原・事務局)

さかえcoconレンジャー



私たちは、平成25年10月に発足した学生ボランティア団体です。現在は高校3年生から大学3年生までの計10人が所属し、区内福祉施設でのお手伝いやイベント補助、そして学生ならではのボランティア活動の企画・運営をしています。

coconとは?

「未来に向けて大きく栄えていく」という区名の由来を「共栄 (co-prosperity)」が「続く (continue)」という2つの英単語で表し、名付けました。

平成26年
3月

第1回さかえクリーン大作戦

初企画!



ごみ拾いを通して、
地域の方々と
交流できました!

豊田地域ケアプラザ夏祭り 平成26年
8月

大好評!!



coconは
カキ氷を出店。

その他の活動...



- 8月：ほっとスクール・施設訪問
- 10月：ふれあい運動会
- 12月：第2回クリーン大作戦



ようこそ・であい広場



甘酒とお団子販売。
区内のボランティア団体の
多さにびっくり!

(代表 平野 孝典)

新メンバー募集中!!

毎月第3土曜日 15:30~17:30
定例会 栄区福祉保健活動拠点
「ピアハッピー栄」

今後も様々なボランティア活動
に取り組み、地域の方々と一緒に
栄区を盛り上げていきたいです!

興味のある方は、ぜひ来てみてネ。
待ってます!

ボランティア保険のご案内

ボランティア活動の際には、活動中や行き帰りの事故に備えて、
ボランティア活動保険の加入をお勧めしています。

ボランティア活動保険

「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」が対象です。万が一の事故に備えて是非ご加入ください。

ボランティア行幸用保険

「地域福祉活動やボランティア活動の一環として日本国内で行われる各種行事」が対象です。行事参加者のケガなど、万が一の事故に備えご活用ください。

福祉サービス総合補償

本制度は、ホームヘルプサービス、デイサービス、配食サービス、小規模多機能型サービス、小規模作業所などを実施する団体等にご利用いただいています。

リスクへの心構え、備えを忘れずに。困ったこと、わからないことは一人で抱え込まず、ボランティアセンターにご相談ください。

またボランティア保険の加入は、ボランティアセンター窓口で受け付けています。

横浜市栄区社会福祉協議会 ボランティアセンター

受付時間 月～土曜日 午前9時から午後5時まで

TEL 045-894-8521 FAX 045-892-8974

栄区社会福祉協議会 善意銀行のご案内

善意銀行とは、地域のみなさまからの善意の寄付をお預かりし、支援を必要とするところに配分する仕組みです。

あなたの気持ちで地域の活動を支えます。

例えば、さかえふれあい助成金の財源の一部として、配食・会食などの食事サービス、送迎、家事支援、ミニデイサービス、サロン、音声訳などのボランティア活動の支援。障がい当事者活動などの支援。その他、福祉推進のための活動支援など、区内の活動団体へ配分されます。

ボランティア活動をした
いけれど、忙しくて時間が
なかなか取れない…。
そんな方にはこんな方法
もあります。

障がいのある方への外出支援 ボランティア講座

- 日 時 平成27年2月27日(金)
10時～12時
- 場 所 栄区福祉保健活動拠点
ピアハッピー栄 多目的研修室
- 内 容 知的障がい、発達障がいの知識や関わりを学びます。
- 参加費 無料
- 対 象 18歳以上で、障がい児者に関わる
ボランティアに関心のある方
- 定 員 先着30名
- 申込み 下記宛にお問い合わせください。
栄区社会福祉協議会 ボランティアセンター
栄区桂町279-29
TEL:894-8521 FAX:892-8974
- 申込締切 平成27年2月23日(月)

ボランティア 豆知識

性別	人数
男性	352人
女性	350人
合計	702人

栄区
ボランティア
センターの
登録者数

多くの方がボランティアとして登録・活動をしています。栄区は男性ボランティアが多いことが特徴です。

